

7、8月の需要期出荷に適応できる茨城県小ギク新品种 ～「常陸サマーライト」「常陸サマールージュ」「常陸サマーシルキー」～

農業総合センター生物学研究所

小ギク黄色品種「常陸サマーライト」、赤色品種「常陸サマールージュ」及び白色品種「常陸サマーシルキー」は、市場からの需要が高い草丈（切花長）と草姿（頂点咲き）をもち、東京盆（7月）出荷向け及び旧盆（8月）向けの出荷に適応できます。

7月作型における適応性

「常陸サマーライト」、「常陸サマールージュ」、「常陸サマーシルキー」の3品種は7月作型（3月下旬定植）では、おおむね6月下旬から7月上旬に開花します。

切り花形質は、切花長がおおむね100cm以上と長く、草姿が頂点咲きで優れます。



写真1 「常陸サマーライト」



写真2 「常陸サマールージュ」



写真3 「常陸サマーシルキー」

8月作型における適応性

「常陸サマーライト」、「常陸サマールージュ」、「常陸サマーシルキー」の3品種は8月作型（4月下旬定植）では、おおむね7月下旬から8月上旬に開花します。

切り花形質は、切花長がおおむね90cm以上と長く、草姿が頂点咲きで優れます。

複数需要期適応による品種管理の労力軽減

「常陸サマーライト」、「常陸サマールージュ」、「常陸サマーシルキー」の3品種は、複数の仏花需要期向けに利用できるため、栽培品種数を削減し、管理作業の効率化や省力化を図ることができます。

(従来作型)



(複数作型)



■ : 開花日 ■ : 需要期

図 作型の拡大による複数需要期への対応